

**- 第155回生存圏シンポジウム -**

## **木質構造に関する最新研究成果発表・討論会**

本シンポジウムでは、木質材料・木質構造の開発・研究に従事している若手・中堅の研究者及び技術者を対象に、木質構造の種々の性能を読み解くために必要と考えられる最新の研究成果発表と参加者全員による討論を行います。その議論により、更なる研究の高度化と課題の発掘を目指します。

**日時：2010年11月17日(水)**  
13:00~17:00

**場所：黄檗プラザ研修室1**  
(京都大学宇治キャンパス内)

### **講演予定者と主な内容**

**(1) 神戸 渡** (東京理科大学)

木材の破壊を考慮した構造物設計の可能性  
- わかりづらいこと、わかってきたこと -

**(2) 石山 央樹** (住友林業)

釘接合部の劣化と残存強度

**(3) 田中 圭** (大分大学)

柱脚接合部の点検が可能な耐力壁の開発  
-2009年度伸木会シンポジウム

トステム財団助成の成果 -

**【申込先】 独立行政法人 森林総合研究所**  
構造利用研究領域 木質構造居住環境研究室  
青木謙治 (aoken@ffpri.affrc.go.jp)